



★救急医療学習会を開催しました。(2015年7月 29日 14:00)

場所：あさか虹の歯科 1階診療室

参加人数：職員 11名

窒息時、低血糖時の対応～急変時に対応できる職員を目指して～

医療生協さいたま埼玉協同病院看護部副部長小野寺看護師による救急医療の学習会第2回を実施しました。正しい窒息時の対応と、低血糖が疑われた際の症状や対応について学び合いました。



歯科診療台での治療中に、窒息を想定した、背部叩打法の指導を受ける様子。

そのほかにも、チョッキングサイン（窒息のサイン）を見極め、ハイムリッヒ法で背部を突き上げり対応方法などを学びました。



自己血糖測定器の使用方法について指導をうける様子。

実際に、職員の血糖値を測定しました。

また、低血糖時の症状として交感神経刺激症状が起き、次いで中枢神経刺激症状がおこることを学びました。人それぞれによりケースは異なるため、発汗、顔面蒼白、動機、血圧上昇などのボディサインに注視していくことを確認しあいました。